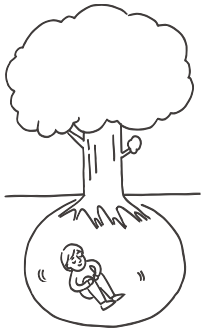


インタビュー | クスミエリカ (No.032)

好き：写真（写真表現全般、加工写真、アートフォト）



Q.自分のベースになったと思う原体験は？

字が読めない時から絵本を読んでいて、0歳から絵本を触っていたくらい、お家に本がたくさんありました。

お気に入りによく読んでいたのは、外国の児童文学や世界文学全集みたいな。本の虫みたいなインドアな子どもでした。

家にはよく、外装だけ装丁された中身は白紙の図鑑や百科事典の見本があって（父親が古書店を経営）、そこに弟と絵を描きまくってました。お父さんも絵が上手だった。

Q.どこで、誰と出会う？

英語を勉強しようと思って大学に入学したんですけど、入学して半年くらい経ったときの大学祭で迷子になって、それがたまたま写真展をやっていたところで。

今思えばレベルの高い写真部で…



Q.何を見た？

大講堂で写真展をやっていました。

黒いパネルが並んでいる空間の中で、作品にスポットライトが当たっていて、ジャズが流れていて、なんて素敵な空間だろうというのが第一印象でした。

ファッションフォトのようなポートレートや、風景や静物、ストリートフォト、様々なジャンルの写真がたくさん展示されていました。

Q.どう感じた？

カッコいい、やってみたいって思って。衝動的に。

それまで別に写真をやりたいとか、写真集を見ていたわけでも全然なくて、突発的に、衝動的にという感じでした。

Q.そのあとのストーリー

コンパクトカメラでフィルム1本撮影して、現像処理からプリントまでの初めての暗室作業が面白くて、これはカメラ買おうって。

当時はカメラマンのバイトもあって、現場を見たりスタジオに遊びに行ったりしていました。外部の暗室を借りたことから知り合った友人や美術作家などいろんな人たちとお話する機会があって、多種多様な「表現」という方法や面白さを知ったというか。

好きの初期衝動をそのまま純粋に活動している人たちに影響を受けて、こういう風に生きていけるんだって思ってすごく面白かったです。

